

## 【演題名】

平戸度島スタディ(MGD 検診)：島民における Demodex の保有率とリスク因子の検討

## 【ショートタイトル演題名】

Demodex の保有率とリスク因子

## 【演者】

○鈴木崇<sup>1)2)</sup>、有田玲子<sup>1)3)</sup>、溝口尚則<sup>1)4)</sup>、川島素子<sup>1)5)</sup>、高静花<sup>1)6)</sup>、白川理香<sup>1)7)</sup>、福岡詩麻<sup>1)8)</sup>、森重直行<sup>1)9)</sup>

1) LIME 研究会 2) 東邦大大森 3)伊藤医院 4)溝口眼科 5)慶応大 6)大阪大 7)東京大 8) 大宮はまだ眼科 9)大島眼科病院

【目的】平戸度島で行われた疫学調査の中で、島民の Demodex(以下 D)保有率と保有に関するリスク因子の検討を行った。

【方法】20 歳以上の島民、284 名（男性 107 名 女性 177 名）に対して、4 本の睫毛を抜去し、光学顕微鏡にて、D の有無と匹数を確認した。さらに、前眼部所見を確認し、マイボグラフィにてマイボーム腺の形態をスコアリングした(マイボスコア)。D 保有に関するリスク因子の検討を Fisher の直接確率法、Logistic 回帰によるオッズ比推定を行った。

【結果】284 名中 158 名（55.6%）で D を検出し、D の匹数は  $3.2 \pm 4.4$  匹/人であった。D 保有率は、男性（男性：64.5%，女性：50.3%， $p=0.0263$ ）、60 歳以上(20~39 歳: 32.3%，40~59 歳：42%，60 歳以上：67.3%， $p=0.0005$ )で有意に多かった。年齢調整しオッズ比を推定したところ、マイボスコア（オッズ比：1.268, 95%CI：1.073~1.499）、マイボーム腺開口部プラグング（オッズ比：1.734, 95%CI：1.052~2.859）、翼状片（オッズ比：4.529, 95%CI：1.679~12.221）が D 保有のリスク因子として考えられた。

【結論】平戸度島での D の保有率は 55.6%で、高齢、男性、マイボーム腺機能不全、翼状片がリスク因子として考えられた。